

授業科目	運動学総論				
担当者	境 隆弘 (実務経験者)				
実務経験者の概要	理学療法士としての臨床経験があり、現在もスポーツ整形分野の病院に携わっている				
学科名	理学療法学専攻	学 年	1 年	総単位数	2 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

理学療法にとっての運動学 (Kinesiology) は、「人間の運動の科学」であり、理学療法士として実務をするために必須の学問である。

人間のからだの構造を学ぶ解剖学、人間のからだの機能を学ぶ生理学、そして、身体および身体各部を物体とみなした時の力学を基礎とした応用科学であることについて学ぶ。

境 隆弘 (実務経験者)

## ■ 到達目標

運動学用語を理解し、使用できるようになる。

運動力学を理解する。

上肢の関節運動学を理解し、触診やデモンストレーションが出来るようになる。

## ■ 授業計画

- 第1回 コース・ガイダンス  
講義の進め方、評定方法の他、理学療法士にとっての運動学の重要性を学ぶ
- 第2回 運動学 (Kinesiology) 総説  
解剖学・生理学ならびに運動療法学との関連、Kinematics と Kinetics について学ぶ
- 第3回 身体運動①基本  
運動学を学ぶにあたって必要な身体における運動面と軸について学ぶ
- 第4回 身体運動②名称  
運動学を学ぶにあたって必要な身体各部の運動方向の名称について学ぶ
- 第5回 身体運動③演習  
①②で学んだ身体運動について、演習を行い理解を深める
- 第6回 運動を構成する要素と器官①  
ヒトの運動を生む器官のうち、骨と関節について学ぶ
- 第7回 運動を構成する要素と器官②  
ヒトの運動を生む器官のうち、筋について学ぶ
- 第8回 運動を構成する要素と器官③  
①②で学んだ運動を構成する要素と器官について、演習を行い理解を深める
- 第9回 力学の基礎①  
運動学を学ぶにあたって必要なニュートン力学について学ぶ
- 第10回 力学の基礎②  
運動学を学ぶにあたって必要な身体とてこについて学ぶ
- 第11回 力学の基礎③  
運動学を学ぶにあたって必要なモーメント (トルク) について学ぶ
- 第12回 力学の基礎④  
運動学を学ぶにあたって必要な生体における力とモーメントについて学ぶ
- 第13回 構えと姿勢①  
ヒトの運動にかかわる構えと姿勢の名称について学ぶ

- 第14回 構えと姿勢②  
①で学んだ構えと姿勢について、演習を行い理解を深める
- 第15回 上肢の関節運動学①  
肩甲帯に関する運動器官と関節運動学について学ぶ
- 第16回 上肢の関節運動学演習①  
肩甲帯の関節運動学について、演習を行い理解を深める
- 第17回 上肢の関節運動学②  
肩関節に関する運動器官と関節運動学について学ぶ
- 第18回 上肢の関節運動学演習②  
肩関節の関節運動学について、演習を行い理解を深める
- 第19回 上肢の関節運動学③  
肘関節に関する運動器官と関節運動学について学ぶ
- 第20回 上肢の関節運動学演習③  
肘関節の関節運動学について、演習を行い理解を深める
- 第21回 上肢の関節運動学④  
前腕に関する運動器官と関節運動学について学ぶ
- 第22回 上肢の関節運動学演習④  
前腕の関節運動学について、演習を行い理解を深める
- 第23回 上肢の関節運動学⑤  
手関節に関する運動器官と関節運動学について学ぶ
- 第24回 上肢の関節運動学演習⑤  
手関節の関節運動学について、演習を行い理解を深める
- 第25回 上肢の関節運動学⑥  
手指に関する運動器官と関節運動学について学ぶ
- 第26回 上肢の関節運動学演習⑥  
手指の関節運動学について、演習を行い理解を深める
- 第27回 実技試験  
学んだ関節運動学について実技試験を実施する
- 第28回 実技試験のフィードバック  
実技試験の解説、講評を行う
- 第29回 総括①  
本講義で学んだことについて、復習、再確認を行う
- 第30回 総括②  
本講義で学んだことについて、復習、再確認を行う

## ■ 評価方法

### 【科目試験（筆記試験）80%】

小テスト・実技テスト20%（学則で認められない理由での遅刻・欠席は減点）  
講義内テストを含む全ての試験の際に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

### （予習）

運動学は、解剖学、生理学、物理学（力学）の知識が無ければ、理解が進まない。  
毎回、授業内容に応じた解剖学、生理学、物理学（力学）の復習をしていくこと。  
例：肩関節の授業の前は、肩関節の解剖の復習をしていく。

### （復習）

授業の翌週に必ず小テストを行うので、授業での学習内容が身に付くよう復習すること。

## ■ 教科書

書名：基礎運動学

著者名：中村隆一、斎藤宏

出版社：医歯薬出版

書名：PT・OTのための運動学テキスト

著者名：小柳磨毅 他編

出版社：金原出版

## ■ 参考図書

書名：身体運動学 関節の制御と筋機能

著者名：市橋則明

出版社：メジカルビュー

## ■ 留意事項

## ■ 講義受講にあたって

理学療法の基礎学問として重要な科目であり、2年生に進んで、運動学各論、運動学実習、臨床運動学と引き続き勉強なのでしっかり学んでほしい。